



何を感じますか？

これは昨年11月8日（水）岡山県弁論大会で優秀賞になった2年C組宮田圭太君の作文です。感じ方は人それぞれ異なりますが、読んで何かを感じることは誰でもできるはず。みなさんはこれを読んで何を感じますか？

努力の結果

玉島商業高等学校 宮田圭太

小学校4年からソフトボールを始めた僕は、努力しなくてもすぐにレギュラーになりました。それは、チームの人数が少なかったからです。

ところが、中学校の野球部に入ると、自分より身体が大きく、運動センスも優れた人ばかり。「このままじゃあ、レギュラーになれん。」そう思った僕は、必死に練習しました。家ではバットを振り、河原を走り、自主的にトレーニングをしました。負けたくなかったのです。それなのに、バットにボールは当たらず、走っても他の選手より遅い。やっと出してもらえた練習試合でも失敗ばかり。僕は悔しくてたまりませんでした。そんな2年の終わり、顧問の先生がこう言ってくださいました。

「試合に出ていないお前たちがチームを造っていくんだぞ。レギュラーだけでは勝てない。お前たちが頑張ればチームは強くなるから。」

正直僕はこの言葉に救われました。「やっている努力は無駄ではない。」と言われたように思ったのです。

「チームのためにも頑張ろう！」そう決心した僕は、率先して行動するようになりました。やがて内野のリーダーに推薦されました。「宮田ならできる」とみんな言うてくれたのです。また、野球部の監督は、結果が出せない僕にも期待して、一打席だけでも試合に出してくれました。その気持ちにどうしても応えたいと頑張っていると、たまに上手く打てるようになってきたのです。苦労した分、その喜びは大きくて、つらさも吹き飛ばす気がしました。

でも、結局、僕はたった一度もレギュラーにはなれませんでした。ほんとうに悔しかった。ただ、同時に僕は「やりきった！」という満足感も感じていました。引退試合のあと、監督は「宮田は努力の人だった。諦めずに努力を続けた。それはすごいことだ。」と言ってくださいました。「本気で頑張ったし、認めてもらえた。」という思いは、その後の僕の大きな自信となったのです。

「努力した分は返ってくる」そう考えている僕が、最近気になることがあります。それは、「そんな無理」「めんどくさ！」と言ってすぐにあきらめる姿勢です。

今の時代は簡単にできることが多いと思います。そのため、楽な方に逃げる人がふえているのではないのでしょうか。また、中身よりも見かけを重視する傾向もあります。「インスタ映えする」といって、見栄えの良い写真を撮り、SNSにアップすることがはやっています。そこで、「いいね」といろいろな人から認めてもらうことは確かにうれしいです。でも、自分が何をしたかよりも、どう見えるかを追いかけているだけでは、本当に満たされた気持ちにはなれないと思います。

平成25年度の内閣府の意識調査で、日本の若者の意欲や自己肯定感が、諸外国に比べてかなり低いことがわかりました。学校生活の満足度も七カ国中、最下位です。そんな今の僕たちに必要なのは、やはり努力したり頑張ったりして得られる充実感ではないのでしょうか。

先週、僕は生徒会長になりました。頑張る人を応援し、頑張れない人の背中を押したいと思って立候補したのです。学校生活にはたくさんのチャンスがあります。「やってみようや」と声を掛け、頑張った喜びをみんなに感じてほしいと思っています。

野球を通して僕が得たことは、信頼・根性・達成感など、外からはわからない、大切なことばかりです。「努力の結果、それは、すぐには見えないかもしれない。でも、必ず何かの形で実る」そう信じて、僕は今、自分にできることから始めます。

ディズニーもこだわる身だしなみ

先月、関東の修学旅行で行った人にとっては記憶に新しいと思います。一見楽しそうで華やかなディズニーランド。しかし、キャスト（従業員のこと）には学校の校則のような「ディズニールック」という身だしなみの規定があります。例えば茶髪はダメ、女性は化粧は濃くないもの、男性のひげはダメというように、さらに細かい規定があるようです。正社員であろうと、学生アルバイトであろうと関係なく、キャストとして働くには、この規定内で身だしなみを整えなければなりません。これがまた厳しいらしい。その身だしなみを毎朝チェックする担当者（ディズニーではアピアランス・コーディネーターという）がいて、チェックされた場合、表に出ることが許可されないそうです。身だしなみはゲスト（お客さん）のためにするものという考え方が徹底されてますね。

夢を売る仕事に不誠実なキャストはいらない。こうした企業努力があるからこそ私たちは園内で満足を得られるのです。

また、ディズニーのキャストは入社当初4つの言葉を教わるそうです。それは「安全性」「礼儀正しさ」「ショー」「効率」です。この順番がポイントで「安全性」>「礼儀正しさ」>「ショー」>「効率」の順だそうです。人を楽しませるためにも身だしなみは欠かせないのです。



1月から検定週間始まります

昨年経験したように、1月は検定週間となります。（多い人は3週連続）その日程と受験級は以下の通りです。

- 1月21日（日）全商情報処理検定1級
- 1月28日（日）全商簿記検定1級
- 2月4日（日）全商商業経済検定2級

特に簿記と情報処理はいよいよ1級への挑戦となり、この結果によって進路が変わると言っても過言ではありません。この1月は勝負の月です。なお、各検定それぞれ1週間前から補習が始まります。もし18時以降も補習をする場合には、特別に携帯電話で保護者の方に連絡を入れさせています。何かありましたら担任までご連絡ください。



最大の敵はインフルエンザ！！

昨年、多数の出席停止者が出たこの時期、そうインフルエンザ流行の時期です。昨年は大事な検定週間に多数の生徒・教員が感染し、出席停止をせざるを得ない状況になりました。インフルエンザに感染し、努力の成果を十分に発揮できなかったという結果が私達も一番残念です。予防接種、手洗い、うがい等できる対策は十分にしておいてください。

